

平成30年度指定管理者制度活用事業 評価シート(こども文化センター)

1. 基本事項

施設名称	川崎市第1グループ(旭町・日進町・渡田)	評価対象年度	平成30年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	こども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	1 旭町こども文化センター ①年間延べ利用者数	H29 33,503人	H30 29,384人	②年間延べ利用団体数	H29 941団体	H30 893団体
	2 旭町小学校わくわくプラザ ①登録者数	239人	260人	②年間延べ利用者数	16,527人	20,271人
	3 宮前小学校わくわくプラザ ①登録者数	348人	357人	②年間延べ利用者数	24,609人	26,652人
	1 日進町こども文化センター ①年間延べ利用者数	29,424人	31,510人	②年間延べ利用団体数	330団体	376団体
収支実績	2 川崎小学校わくわくプラザ ①登録者数	311人	325人	②年間延べ利用者数	25,668人	27,690人
	3 京町小学校わくわくプラザ ①登録者数	156人	174人	②年間延べ利用者数	9,780人	11,734人
	1 渡田こども文化センター ①年間延べ利用者数	21,340人	21,543人	②年間延べ利用団体数	149団体	92団体
	2 田島小学校わくわくプラザ ①登録者数	162人	149人	②年間延べ利用者数	9,859人	10,929人
サービス向上の取組	3 向小学校わくわくプラザ ①登録者数	178人	152人	②年間延べ利用者数	11,767人	12,632人
	1 収入 指定管理料	単位:円 159,703,411				
	2 支出 人件費 管理費 事務経費 その他経費 合計	127,968,676 9,929,884 6,741,190 9,103,722 153,743,472				
	3 差引	5,959,939				
運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。						

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	3	6
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。			
(評価の理由) ・仕様書・事業計画に基づき、こども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。 ・渡田こども文化センターでは、定期的なびよこたいむ事業として乳幼児を対象とした事業を行い、集会室全体を使った大型遊具使用のイベントや新たに床一面を紙工作で飾り付け背景として衣装を身に着けた乳児を写真で撮る「こ文DEアート」事業などを企画し行事内容の工夫を行った。 ・旭町こども文化センターでは、乳幼児向けの身体測定会「あさひっこぼかほかタイム」を毎月実施、また、幼児向けの楽曲を生演奏するマドレーヌ音楽会を開催し、乳幼児親子の利用促進を行った。 ・日進町こども文化センターでは、「川崎アイeyeセンター」を行い、ストーリー性あるミッションをクリアする体験学習を通じて地域での視覚障害者情報センターの役割を学び、また視覚障害を持つ方々への配慮の必要を知ることにつながった。					
サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	4	8
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	4	4
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	4	8
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	4	4
	運営協議会の実施	「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3	
(評価の理由) ・利用者ニーズについては、意見箱の活用や利用者アンケート、子ども運営会議等を通して、利用者ニーズ把握に努めている。旭町こども文化センターでは、あさひこ会議(学校教育推進会議)での児童からの要望に応じて空いている部屋を利用し、勉強のできる環境を提供するなど運営・業務の改善に繋げている。 ・特別な配慮を要する児童への対応については、アレルギー等各種疾患のある児童を適切に処遇するための研修を開催し、携帯検査器具の使用手法や応急処置の方法を学んだ他、応急処置の器具の配置箇所を整理するなど工夫を行うことで、児童の処遇向上が図られた。 ・学校及び行政機関との連携については、日進町こども文化センターでは「フラワーロード大作戦パート2」の実施にあたり、地域のみまもり町の美化・ボランティア育成などの地域課題を共有し、新たな連携先グリーンパト隊と連携し、異年齢交流に繋がった。旭町こども文化センターでは、高齢者との地域交流を行うため大島老人こいの家と新たに連携し、昔遊び、カラオケ、絵手紙教室などの交流事業を行い多世代交流を行った。 ・施設・事業の広報については、乳幼児向けたよりを毎月発行し、近隣の保育園に配布するなど工夫を行い、対象年齢を捉えた効果的な広報を行っている。また、一部の行事では行事ごとのチラシを小さいサイズの紙で印刷し配布しやすいうようにするなど工夫を行った。 ・運営協議会の実施について、運営協議会が設置され、事業計画どおり開催されている。 ・保護者懇談会について、懇談会が事業計画どおり開催されている。					

組織管理体制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
	職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	4	8
職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。					
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> 適正な人員配置については、子ども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。 職員の研修体制については、館内会議やスタッフ会議等において、研修を受講した職員がその知識を共有しているほか、研修資料やレポートをファイル等に一元化して管理し、職員が閲覧できる等、共有化の仕組み作りができています。さらに日進町子ども文化センターでは、市研修の不登校児研修を受けてきた職員が館内で下ろし研修を開催し、問題行動への対応方法やコミュニケーションの方法を学んだことで、職員の資質の向上が図られた。 個人情報の取扱については、法人において定めている、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報は鍵のかかる保管庫に保管されている。また個人情報の漏洩の事実はありません。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	4	4
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	3	3
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
		事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。			
防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯対策に工夫がなされているか。	5	3	3	
	災害発生時に備えた対応が図られているか。				
	災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。				
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の保守管理については、子ども文化センター・わくわくプラザ共に、施設・設備の保守点検を日常的に行い、補修が必要な場合は適宜、工事等実施している。特に川崎小学校わくわくプラザでは、玄関までの通路の水はけ不良の応急処置のため、コンクリート板を敷くDIYを行い利用者の使いやすさの向上が図られた。 利用者の安全確保については、マニュアル等が整備されているとともに、事故防止・感染症予防が図られている。 防犯対策及び災害時の対応として、法人作成の「不審者対応マニュアル」や、館ごとに作成している「災害時対応マニュアル」に基づき、消防訓練、避難訓練の実施等、防災体制の強化に取り組んでいる。 					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。	5	3	3
		効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。			
		支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。			
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> 金銭管理・会計手続については、適正に行われている。 受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。 					

4. 総合評価

評価点合計	69	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

市内20グループの子ども文化センター及びわくわくプラザの指定管理を行うスケールメリットを活かし、効率的・効果的な事業運営を行っている他、全館・全区合同事業の実施、経験や役割に応じた計画的な研修実施によって職員の資質向上を図り、また研修内容・事故状況等の情報を全館で共有するなどにより、安定的で良質なサービス提供を行っている。
 乳幼児を対象とした事業を多数行い、乳幼児親子の利用者を増やす取組を行う他、学校・老人いこいの家などの地域の機関と連携し多世代交流に努め、さらには中高生利用促進のために施設運用の工夫や声がけするなど行うことで中高生の居場所づくりを行っている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後も、地域社会全体で子どもを見守り育てる、安全・安心な居場所となるよう、環境整備や職員のスキル向上に努め、学校、行政、地域の各団体が共に連携しながら地域づくりを進めることで、職員との顔の見える関係を築き、小中高生から高齢者まで、多世代にとって、居心地のよい場となるよう努めること。また、より一層利用者の安全を確保するために、他施設や類似施設等でのヒヤリハット事例等の検討を各施設単位で行い、対応策を立案し職員間で共有する等、さらなる安全確保の取組を行うことが望ましい。